

参考文献等

【環境影響評価法を巡る最近の動向】

○東京会場

柳 憲一郎 明治大学法科大学院 教授

教科名：環境影響評価法を巡る最近の動向～制度概要、改正法施行、手続状況、放射性物質、迅速化等～

参考文献：

1. 「環境影響評価法に基づく基本的事項等に関する技術検討委員会」報告書の公表及び環境影響評価法に基づく基本的事項（環境省告示）の改正について（お知らせ）
(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15071>)
2. 環境影響評価法に基づく基本的事項等に関する技術検討委員会（～平成 24 年 3 月）
(<http://www.env.go.jp/policy/assess/5-4basic/>)
3. 環境影響評価法に基づく基本的事項等に関する技術検討委員会（平成 26 年 1 月～）
(<http://www.env.go.jp/policy/assess/5-9basic2/index.html>)
4. 環境影響評価法に基づく基本的事項（環境庁告示第八十七号）
(<http://www.env.go.jp/policy/assess/2-2law/pdf/honbun260627-1.pdf>)
5. 技術指針等を定める主務省令
(<http://www.env.go.jp/policy/assess/2-2law/5.html>)
6. 環境省総合環境政策局環境影響評価課／監修 計画段階配慮技術手法に関する検討会／編著（2013）,「計画段階環境配慮書の考え方と実務 環境アセスメント技術ガイド」成山堂書店
7. 柳 憲一郎（2011）,“新環境法シリーズ(第 1 回)改正アセス法と残された課題”, 環境管理 47(9) 732～736
8. 環境法政策学会 編（2014）「環境基本法制定 20 周年—環境法の過去・現在・未来」商事法務
9. 柳 憲一郎（2014）,“持続可能性アセスメントの試行：二〇二〇年東京オリンピック・アセス事例から（特集 最新の環境アセスメント法の動向と課題）”, 環境法研究（39）142-158
10. 上杉 哲郎（2014）,“大規模災害からの復旧・復興と環境影響評価（特集 復興アセス）”, 環境アセスメント学会誌 12(2) 32-35
11. 柳憲一郎（2010）,「戦略的環境アセスメントと持続可能性アセスメントの現状と課題」, 明治大学法科大学院論集, (7) 463-486
12. 塩田 正純, 柳 憲一郎(2012),“風力発電に関する環境問題（特集 洋上風力発電の展望と課題）”, 環境管理 48(9) 795-803
13. 柳 憲一郎；尤 婧（2014）,“新・環境法シリーズ(第 29 回)中国における微小粒子状物質(PM_{2.5})対策の最近の動き”, 環境管理 50(5) 42-47